

---

# 学校事務分科会

---

## I 研究のあゆみ

4月24日(木)	2025年度名教組教研オリエンテーション (2025年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月下旬～6月下旬	個別指導	
7月25日(金)	研究内容の検討(研究のまとめ方)	【守山特別支援学校】
8月22日(金)	発表内容の検討(リハーサル)	【守山特別支援学校】
9月20日(土)	第75回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウインクあいち】

## II 研究協議の概略

今年度、学校事務分科会では、「指導と財務をつなぐ学校事務～教材採択をサポートする物品管理～」をテーマとした実践が報告された。

物品管理は、学校事務職員としての専門性を発揮することが求められている分野である。一方、実際に学校の物品を活用して授業を行うのは教員であるため、教員との情報共有が学校全体の物品管理を行う上で重要となる。報告では、物品管理票の作成を通して、授業で使用する材料や用具を可視化し、適正で効率的な物品管理が進められていた。また、学校事務職員である報告者が授業を見学して得た気付きについても報告があり、この取り組みによって、学校事務職員が教員の仕事を、教員が学校事務職員の仕事を理解するきっかけになったことが感じられた。

意見交流では、「多様な教職員が授業に関わることのよさについて」をテーマに、参加者が校内で実践した例を紹介し合い、教員や栄養教諭だけでなく他の教職員が授業に関わることや、ゲストティーチャーとして専門家から実際に話を聞くことを通して、学習が一層豊かになることが確認された。

※ 本分科会は、「学校給食・食育分科会」と合同で開催しました。

## III 今後に残された課題

- 学校事務職員からの報告があったということ自体に価値がある。次年度以降も継続して報告が行われることを期待したい。
- 今年度の分科会は学校給食・食育分科会との合同開催となったが、非常に有意義なものとなったと感じる。今後も他の分科会と合同で開催することにより、学校事務分科会としてはより深い学びが実現できるのではないかと考える。